

星空市場

天文用語「古天文学」私見

齊藤国治氏の造語「古天文学」がカバーする研究対象を分類すれば¹⁾

- I. 考古天文学＝先史時代の、文字記録のない遺跡・遺物であって、天文に関係があるらしいもの。例えば、古代ピラミッド・ストーンヘンジ・ナスカの地上絵・メデシンホイール・飛鳥の酒舟石・益田岩船など。
- II. 歴史天文学＝歴史時代の、文字記録のある文献。これは二つに細分類されて、a. 日月惑星のように、古代に遡ってその天球上の位置が数理的に検算できるもの。これは従来「天文年代学」の名で通っていた。例えば、日食・月食・星食犯・惑星現象・星昼見・老人星・ハレー彗星などである。b. 数理検算がむずかしい天文記録。例えば、彗孛・流星・客星・赤気・日中黒子・日月暈・日月薄食・白虹など。
- III. 民俗天文学＝発生の年代が不明のまま現代に伝承されている天文関係の習俗。例えば七夕・妙見信仰・二十三夜待ちなど。
- IV. 文学的天文学＝古典の中に表現される天文関係の記述。
- V. 考古以降の天文遺跡・遺物(渾天儀なども)・古天文書・古星図など。

このうちIIに対しては私がかって「古天象学」という名称を提案したことがある²⁾。私は「天文学＝宇宙の現状と進化を研究する学問」「天文学史＝人類が宇宙を認識してきた過程及び天文学の歴史を研究する学問」と理解している。従ってIは先史時代の、IIは歴史時代の天文学史であり、Vは天文史料でやはり天文学史に属する。IIIは天文学の応用で、天文民俗学というべきものである。IVはIIに含まれる。結局、これらを包括する名称として新たに「古天文学」という用語を造る必然性はないことになる。それに長谷川一郎氏が言われるように³⁾、「古天文学」は甚だ誤解を招きやすい用語である。

齊藤氏は古生物を研究する学問を古生物学、古地磁気を研究する学問を古地磁気学と言うのに倣って「古天文学」という用語を造ったと言われるが⁴⁾、井上猛

氏も言われるように⁵⁾「古天文」(いにしへの天文)というものがあるわけではない。この語をただけでは「古代に栄えた天文学」を研究対象とする学問と誤解される恐れがある。それに英訳名 palaeoastronomy にも問題がある。既に Archaeoastronomy(天文考古学)と言う語があるが、意味はどう違うのか?外国人は益々戸惑うばかりである。

齊藤氏は『学術用語集・天文学編』(日本学術振興会, 1994)に「古天文学」という用語が載ったことをもって天文学界に公認されたと思っておられるが⁴⁾、用語集は「教科書や啓蒙書を書くときは、なるべくこれらの用語を使用するのが望ましい」と言う指針を示したもので、これを使わなければ罰するというような強制力はない。それに「古天文学」なる語は用語専用委員会で殆ど論議することなく提案と同時に採択されてしまったとのことである。この分野の研究者達の十分な討議が必要だったのではないか。

齊藤氏は氏自身の独走をやっかむ輩が「古天文学」という用語の抹殺をたくらんでいると思っておられるようだが⁶⁾、これは筋違いな誤解である。少なくとも私は氏の独走を毫もやっかんでおらず、むしろこれも取り上げて下さいと新史料を紹介したこともあるくらいである。長谷川氏も「古天文学」という用語の不適切性を問題にしている³⁾ので、齊藤氏のこれまでに成し遂げた数々の業績は高く評価しているのである。所詮私達はお釈迦様の掌の上で暴れている孫悟空のようなものにすぎない。用語の採否は次世代の人々に任せようではないか。なお「古天文学」論争は命名者にとっても好ましいはずである。何故ならこの用語の知名度を更に高めてくれるであろうから。

引用文献

- 1) 齊藤国治著, 1992, 古天文学の散歩道, 恒星社厚生閣, 188
- 2) 佐藤明達, 1991, 天界, 794, 7, 214; 1991, 天界, 799, 12, 387
- 3) 長谷川一郎, 2000, 天文月報, 93, 4, 236
- 4) 齊藤国治, 2000, 天文月報, 93, 6, 342
- 5) 井上 猛, 1991, 天界, 791, 4, 108
- 6) 齊藤国治, 1989, 天界, 772, 9, 276

(東京都葛飾区 佐藤明達)

編集委員	上野宗孝(編集長), 伊藤孝士, 大橋正健, 小野智子, 斎藤芳隆, 田村元秀, 土橋一仁, 内藤統也, 和田桂一
発行人	〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価 700 円(本体 667 円)	発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
TEL: 0422-31-1359 (事務室)	0422-31-5488 (月報・欧文編集) FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト	http://www.asj.or.jp/ 月報編集 e-mail: jim@geppou.asj.or.jp